

# WAKABA

山梨県立わかば支援学校

平成30年 12月 21日発行

寒さが厳しくなり、今年もあと数日となりました。平成最後の冬休みを迎えようとしています。2学期は様々な行事があり児童や生徒も活発に活動し、いろいろな経験ができたと思います。一つ一つの経験を通して確実に成長している姿を見るとそれぞれの児童や生徒の持つ力のすばらしさを感じている毎日です。

今回は、わかばちゃんの「ちょっと聞いてくりよ〜し」の拡大版になります。学芸会の取り組みの一部と教材教具の紹介と高等部の部活動について紹介します。



## わかばちゃん「ちょっと聞いてくりよ〜し」



今年の学芸会での各ブロックの取り組み紹介です。

○小学部低学年 「おおかみとこやぎ」

母さんやぎと元気に暮らしていた子やぎたち。ある日母さんやぎがいない間におこったできごと元氣いっぱい演技していました。

○小学部中学年 「おにぎりにんじゃ ～ わかば編 ～」

のりの衣に包まれた13人かわいいおにぎり忍者たち。山を越え、川を越え・・・いろいろな忍術を使いながら大切な巻物を取り戻すためにどんぶり城を目指し奮闘していました。



○小学部高学年 「じゅげむ ～ わたしたちのなまえ ～」

「じゅげむ・・・」とてもながい名前です。でも、この名前の中には「幸せに名あれ」という願いがたくさん込められています。その様子を高学年らしく演じていました。

○中学部1年 「ぼくとわたしと小鳥と鈴と ～みんなちがって、みんないい～」

自信が持てない自分。小鳥のように空を飛べない。  
鈴のようにきれいな音が出せない。でも私には走ったり歌ったりできるんだ。みんなそれぞれ良さがあるんだ。みんな違ってみんないいんだ。それぞれの良さを見つけあっていました。



○T 中学部2年 「KSB. ～そば屋とゆかいな仲間たち～」

ある寒い夜、蕎麦屋に3人の客がやってきて、一杯十六文の蕎麦の勘定を一文ごまかして食べていきます。それを見ていた他の客。次の日同じようにごまかしてそばを食べようとやってきますが、うまくいかない様子をあらわしていました。

○中学部3年 「ライオンキング ～自信をもって踏みだそう、未来へ～」

プライドランドを追われたシンバは、仲間の支えにより、自信を取り戻し、王になる決意を胸にプライドを戻していく様子を壮大に演じていました。

○高等部1年 「泣いた赤おに ～私たちをつなぐ大切なもの～」

心の優しい赤鬼とちょっと気の荒い、でも友だち思いの青鬼がいました。人間たちと仲良くなりたい赤鬼は試行錯誤しますが、怖がって誰も相手にしてくれません。そんな赤鬼のために考えた青鬼の作戦。個性あふれる演技と友だちというものの大切さを考える作品でした。

○高等部2年 「人間になりたがった猫」

人間になりたい猫ライオネル。ステファヌス博士に2日間だけ人間にしてもらおうことになりました。町ではいろいろなできごとがありました。が純粋な心をもったライオネルの訴えが人々の心に響いていく話です。演技に高校生らしさを感じ見入ってしまいました。

○高等部3年 「絆 ～34人で未来を切りひらけ～」

高校生最後の学芸会として広島への修学旅行の様子を交えて表現していました。ダンスあり迫力あるセリフありと様々な部分で最上級生らしさがみられました。最後の魂のダンス素晴らしかったです。





## 教材教具紹介



国語・算数（数学）の授業で使用している初期学習の教材の一例です。具体的な操作による学習を通して形、色、位置、方向などの基本的な概念形成を図り、言葉や数の理解につながる力を育てています。

### 「色分け、棒落とし」

ねらい・・・①目と手の協応、手先の巧緻性を高める。  
②色弁別をする。

使い方・・・1つから4つのケースに、カラープラスチックの棒を入れる教材です。  
児童生徒の実態に合わせて、単に穴に棒を入れる課題から、色分けをする課題へと応用する。



#### 工夫点

なめたり噛んだりしても良い素材として、ファイルホルダーを使用する。ケースも100円ショップで購入する。制作に手間をかけずに、カラフルで魅力的な教材であるようにと考え、制作した。

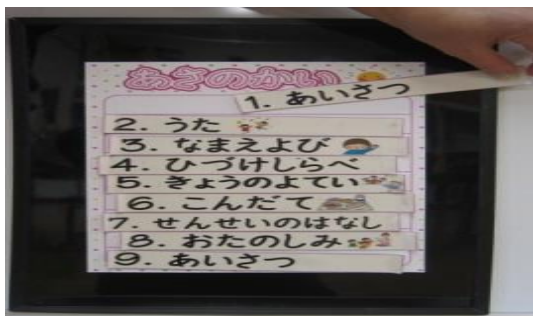
### 日常生活の指導 「朝の会の次第」

ねらい・・・朝の会の司会を、見通しをもって順番通りに行う。

使い方・・・次第のボードを手元に置き、一つ終わるごとに自分でカードをはがしていく。

#### 工夫点

5以上の数の理解と、順番の理解が難しい児童のために、終わったら取り外すという運動を添えた活動によって、順番と9までの数の理解を進めたいと思い、制作した。



# 高等部 部活動紹介



高等部では、5つの部活動があります。週1回または、2回の活動を楽しく、のびのびと自分の力を発揮した活動を進めています。各部活動の様子を紹介します！！

**太鼓部** 本校太鼓部は今年で創部25年を迎えました。今年度は8名の新入部員を迎え3年生9名2年生4名の総勢21名の個性豊かな仲間が真剣に太鼓に向き合い、楽しみながら活動しています。夏のぎんがフェスティバル、有野区の八朔まつり、富士通アイネット75周年記念など様々なイベントで演奏発表をする機会をいただき、とてもよい経験となりました。

高等学校芸術文化祭 郷土芸能部門 発表会では、部員一丸となって『萌ゆるわかば』の曲を演奏し、わかばらしい太鼓の音色を届けることができました。

「やってやれないことはない やらずにできるわけがない。」を合い言葉に、一音入魂の精神で、わかば太鼓部らしい響きを求めて日々活動しています。日頃の応援ありがとうございます。

今後もよろしくお願いします。



## 音楽部

創部6年目を迎えた音楽部は、今年度は3年生2人、2年生3人、1年生4人の合計9人の部員が所属し、毎週火曜日に音楽室で活動しています。

昨年度に続き、今年度も自分達で歌詞を考え、3曲目となるオリジナル曲『Story』を作曲しました。仲間と一緒に過ごせる時間を大切にして自分の道を歩んでいこうといったメッセージが詰まった曲です。福祉村まつりや山の都ふれあいコンサートに出演し、大勢の方に聴いてもらうことができました。

音楽が大好きな生徒が集まり、先輩達から受け継いだロックンロール魂を大切に、みんなで楽しみながら演奏活動に取り組んでいます。



## 陸上部

陸上部は現在男子2名、女子3名で毎週木曜日の放課後、グラウンドで活動を行っています。山梨県高校総体やグランプリ大会への出場を目指して練習に励んでいます。大会前は朝練や休日練習、夏休みには、巨摩高校との合同練習もあります。走りの基本や、基礎トレーニングを中心にした練習で、それぞれの目標に向かってがんばっています。



## 美術部

毎週火曜日午後3：20から、美術室で、1年生3人、2年生4人、3年生1人の計8人で活動しています。活動内容は、絵を描いたり、イラストを描いたり、立体作品を作ったりと、それぞれが自分の個性と興味にあわせた制作をしています。毎回部活動の最後にはお互いの作品を見せ合い、それぞれの作品の良さを発表し合いながら、交流を深めています。6月には全員で蕪崎の大村美術館に校外学習に行き、画家の本物の作品に触れる活動もしました。

作品は、9月に行われる障害者文化展や11月に行われる芸術文化祭、高等学校美術連盟展、3月に行われるひとなっこアート展他、様々なコンクールや展覧会に出品しています。学校にも展示していますので、機会がありましたらぜひご覧ください。



## バスケットボール部

1年生4人、2年生9人、3年生5人のバスケットが大好きな18人の部員が所属しており、毎週火曜日と木曜日の週2回、本校の体育館で活動しています。

夏休み中に行われる県内の特別支援学校との合同練習会、12月に行われるバスケットボール障害者スポーツ山梨県大会での優勝を目指して、日々練習に取り組んでいます。

キャプテンを中心に、準備や片付け、筋力トレーニング、ウォーミングアップなど自分達で行っています。時間さえあればシュートを打ったり、友だち同士で練習をしたりしています。

夏休み中の部活動では、普段の部活動より走り込みやボールを使う練習が多く、みんなたくさん汗をかいていました。暑い中でしたが仲間同士声を掛け合って一生懸命練習に取り組み、よりチームの絆が深まりました。



## 山梨県立わかば支援学校

〒400-0226 南アルプス市有野3346-3

TEL：055-285-1750

FAX：055-285-5827

担当： 地域支援部（丸山なつ江、市川祐喜子、豊嶋千鶴、田中峻）

【URL】 <http://www.kai.ed.jp/wakaba/>

【E-Mail】 [shien@wakabay.kai.ed.jp](mailto:shien@wakabay.kai.ed.jp)